

J R北伊予駅 正面



J R北伊予駅 西側



村井 慶太郎 議員

町道東176号線認定
(J R北伊予駅 東西歩道橋)
工期、工事予算をガラス張りに

事業計画の綿密な調査・協議は

現地調査・関係機関など協議を実施

問

今回の町道東176号線の認定方法は、今までの手法と違っていないか。

副町長

平成24年度に基本設計を行い、J R四国・県・地元実行委員と協議した。

事へ移行する。

また、財源有効利用のため事前の綿密な調査、住民要望の的確な把握、関係者などとの協議はできているのか。

た。

実施可能な場合は、詳細設計を行い国への補助要望を行うとともに町道認定も進め用地買収、工

町道東176号線も同様な経緯で平成17年から現地調査、基礎調査を行い可能性があると判断した。財源は、国の交付金55%、残りは、県、松前町が折半し22・5%負担となる予定。

決算審査意見書の受け止め方は

指摘や改善措置は直ちに実施

問

決算審査を監査委員に行ってもらっている。結びなどで指摘された事項について行政は、どのように受け止め、また次年度に反映させているのか。

町長

監査は、公正で合理的かつ効率的な地方公共団体の行政を確保することができているかを審査し報告を頂いている。この

報告を行政に反映させることが重要である。決算審査書の中で指摘や改善措置を求められた場合には直ちに検討し改善を実施している。